**◎技能検定の概要①　　～技能検定を受講される方へ～**

**（技能検定概要、諸注意事項をよく読んでいただき受講していただきたいと思います。）**

技能検定の項目としては、１・スポーツ現場における移送・搬送法・固定法（包帯・三角巾の2種類）　2・テーピング技術（足関節：基本のテーピング）3・スポーツ現場でのシナリオテスト（整形外科的徒手検査の確認を含む）を行います。

**1・スポーツ現場における移送・搬送法・固定法**

スポーツ現場において傷病者への一次処置として、受傷者が安全に、且つ、速やかに医療機関に受診できるよう移送・搬送法・固定法（包帯・三角巾）の検定を行います。

当日、事前の研修会を行い、**終了後に検定**を行います。

　**【内容】：**

**①止血・固定法　：傷をガーゼで覆い、包帯と必要に応じて副木固定を行う。**

例）転倒して手をつき、傷と骨折が疑われる場合に、止血や固定を行う。

**②移送・搬送法　：傷病者1名を2人一組で搬送を行う。**

例）下肢の怪我により一人で動けない選手の搬送を行う。

**2・テーピング技術検定**

**【内容】：足関節内反捻挫に対する再発予防の固定テーピング**

**【実施時間】：3分間**

**【使用テーピング】：アンダーラップ・非伸縮テープ（ホワイトテープ38㎜幅）**

**【テーピング手順】：**

1. **アンカー**
2. **スターアップ（平行スターアップ）**
3. **ホースシュー**
4. **サーキュラー**
5. **外側ヒールロック（ハーフ）**
6. **内側ヒールロック（ハーフ）**
7. **フィギアエイト**
8. **アンカー**

**【検定のポイント】：**

**・制限時間内に巻けるかどうか**

**・規定通り行えている**

**・固定力があるかどうか**

**・仕上がりの良さ**

**※当日、練習として使用される場合は、ご自身でアンダーラップ及び非伸縮テープ（ホワイト38mm幅）をご用意して下さい。　（但し、検定時の使用テープは、こちらで準備致します。）**

**3・スポーツ現場でのシナリオテスト（整形外科的徒手検査を含む）**

**【実施時間】：7分間**

**【内容】：試合中に選手が怪我をして倒れたところからの想定。**

**選手の安全な移動方法・怪我の評価・試合に出場可能か否かの確認と説明・医療機関の受診の促しなど一連の流れで実施する。**

例）　18歳女性・競技種目（バスケットボール）・膝前十字靱帯損傷

　　「カットインしようとした時、踏み込んだ際にブチっと音がし、倒れた。」

**【検定の手順・ポイント】：**

1. **声掛けをする。意識確認・近づきながら、出血・変形等を確認**
2. **骨折の有無を確認：叩打痛・振動痛の確認**
3. **患部の変形・熱感・腫れを確認**
4. **可動域と痛みの確認（自動運動・他動運動）**
5. **整形外科的検査（スペシャルテスト）の実施と評価の確認**
6. **評価結果を選手に伝え、医療機関受診の促しと今後の競技復帰へアドバイスを行う**
* **RICE処置の必要性の確認と説明**
* **選手へのリスク管理の説明**

## **【申請書記入要綱】**

※申請書の記入に際して、下記事項をご確認の上、お間違いないよう記入してください。

**1・申請時の必須条件**

・日本理学療法士協会会員

・理学療法業務に関する任意保険への加入

（※日本理学療法士協会会員であれば賠償責任保険には自動で加入しておりますので改めて加入する必要はありません。）

・理学療法士免許取得後　**2022年4月時点で4年目以上**

**2・取得している理学療法関連資格**

　・専門理学療法士

（運動器、基礎、神経、内部障害、生活環境、物理療法、教育・管理）

　・認定理学療法士

　　（スポーツ理学療法、運動器、呼吸、循環、神経筋障害、発達障害、脊髄障害、健康増進・参加、徒手理学療法、切断、補装具、物理療法）

　・大学院（修士課程・博士課程）

**3・その他のスポーツ関連資格**

・公的な団体の認定資格

（日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツトレーナー、救急法救急員（日本赤十字社）など

・その他

**4・救急処置の講習受講歴**

　　日本赤十字社、消防署・消防庁、その他の団体などが主催する一次救命処置に関する講習会などの受講歴について記入してください。

（※現在有効なものに限りますが、今年度の受講見込があれば、記入をお願いします。）

**5・埼玉県理学療法士会におけるスポーツ現場での活動参加歴**

　直近5年における主な競技活動の通算参加日数の記入をお願いします。

**6・5以外のスポーツ現場・国際競技大会での活動歴・スポーツ分野における社会活動歴**

主な活動内容、活動頻度など記入をお願いします。

**7・語学力（英語）について**

英語におけるコミュニケーション能力について、該当する部分の記入をお願いします。